

薪炭問屋

東京市神田區永富町六番地

伊川商店 伊川十太郎

電話神田二四五〇番

庭石 大谷石
石炭 コークス
薪炭 販賣

古山商店

店主 古山紋次郎
東京淀橋町角筈七八四

薪炭製産輸出商

東京新宿停車場前

伊藤商店

製炭部 東京府下西多摩郡
氷川村日原

薪炭問屋

京橋區入船町一ノ一

川邊商店

川邊德次郎

電話京橋二四四八番

薪炭卸小賣

下谷區竹町四十番地

下總屋

小田野伊之助

電略(マルイ)

諸國薪炭
コークス 卸小賣
各種石炭

芝區三田豐岡町六十

室伏穆

電話芝六二九番

會津木炭問屋

東京澁谷停車場前

大村商店

大村國太郎

電話芝二四五七番

薪炭問屋
芝區田町九丁目十四番地
太田商店 太田長五郎
電話芝五〇四二番

薪炭問屋
本所區相生町一丁目九番地
宮古屋 小野澤藤治郎
電話本所一〇三番
材木宮古屋 本所區柳原町一丁目東橋川岸十號
問屋支店 小野澤貞之助
電話本所四二九〇番

薪炭問屋
芝區田町六丁目七番地
三河屋 渡會 ち
電話芝二八三五番

薪炭問屋
本所五ツ目龜戸町
美濃屋 藤田德三郎
電話本所一〇二番

薪炭問屋
芝區新堀河岸十九號地
林商店 林 英次
電話芝一五九七番

薪炭販賣
芝區櫻田備前町十五番地
藤野商店
電話新橋一三九一番

薪炭問屋
本鄉區春木町一丁目三十六番地
藤村棕次郎商店
電話下谷一〇五二番

薪炭問屋
本所區中之郷竹町二四
和泉屋 八木沼綽爾
電話本所二〇五六番

薪炭問屋
本所區清水町七番地
海東商店 海東近信
電話(カイ)又ハ(カ)

薪炭問屋
下谷區西町一番地
下野屋 八木沼松三郎
電話下谷五二四七番

薪炭問屋
芝區金杉川岸一號地
甲州屋 吉田喜太郎
電話芝六一六九番

薪炭石炭卸小賣
下谷區龍泉寺町九番地
松本屋 松本兼吉
電話(マツ)又ハ(マ)

薪炭問屋
麻布區新網町一ノ七二
伊藤商店 伊藤喜太郎
電話芝三五三三番

薪炭問屋
本所區茅場町一丁目
田村屋 佐藤正吉
電話(サト)又ハ(タ)

薪炭問屋
東京府下巢鴨庚申塚
千原屋 千原六右衛門
電信路號(チハラ)

薪炭商
神田區岩本町二番地
佐久間熊次郎
電話(サト)一〇七九番

薪炭石炭コークス商
下谷區龍泉寺町一八三
宮城屋 横江七三郎
電話(ヨコ)又ハ(ヨ)

薪炭卸小賣
本所區茅場町三丁目二番地
太田屋 大高淺次郎
電話(アサ)

薪炭問屋
下谷區西黒門町二十一番地
高橋商店 高橋若松
電話(タカ)又ハ(ワ)

薪炭商
東京市外日暮里町字元金杉六四六
西村屋 笠松勇雄
電話(カサ)

薪炭問屋

深川區西六軒堀町十一

小野吉 小野吉右衛門

電話(キチ)

薪炭問屋

本所區林町三ノ四六

土屋商店 土屋 治助

電話(ツチャ)

薪炭問屋

本所區表町四十一番地

花藤號 田中 商店

電話(タナカ)

薪炭商

本所區綠町三丁目三十九

中金 支店

泉澤 堀太郎

薪炭問屋

本所區菊川町二ノ六十六

吉田屋 吉田吉五郎

電話本所四七七十番

薪炭商

深川區海邊町一番地

神谷 鼎

◎要辻式炭竈設備あり貸貸致候

薪炭商

深川區千田町一八六番地

小曾根柳次

電話(リウ)又ハ(リ)

薪炭コークス石炭

本所區綠町四丁目三十番地

泉屋 泉 繁雄

電話(イツ)又ハ(イ)

薪炭ペンキ販賣

京橋區月島西仲通三ノ五

龜山商店 龜山福次郎

電話(フク)又ハ(フ)

薪炭、石炭、コークス

京橋區新佃西町二ノ十六

榎木屋 有澤 駒吉

家傳諸病のマシナイを致します治ること妙なり

薪炭問屋

本所區林町三ノ一七

三河屋 中島久太郎

電話本所四八四番

薪炭問屋

本所區柳原町三ノ七

龜太號 市野澤太吉

電話本所一三〇九番

薪炭問屋

本所區德右衛門町四番地

常陸屋 内田 房吉

電話本所一三二四番

薪炭問屋

本所區林町一ノ二

中清號 橋場 清吉

電話本所二四二番

薪專門問屋

本所區松井町二ノ一

霞商店 霞 角藏

電話(カク)

薪炭問屋

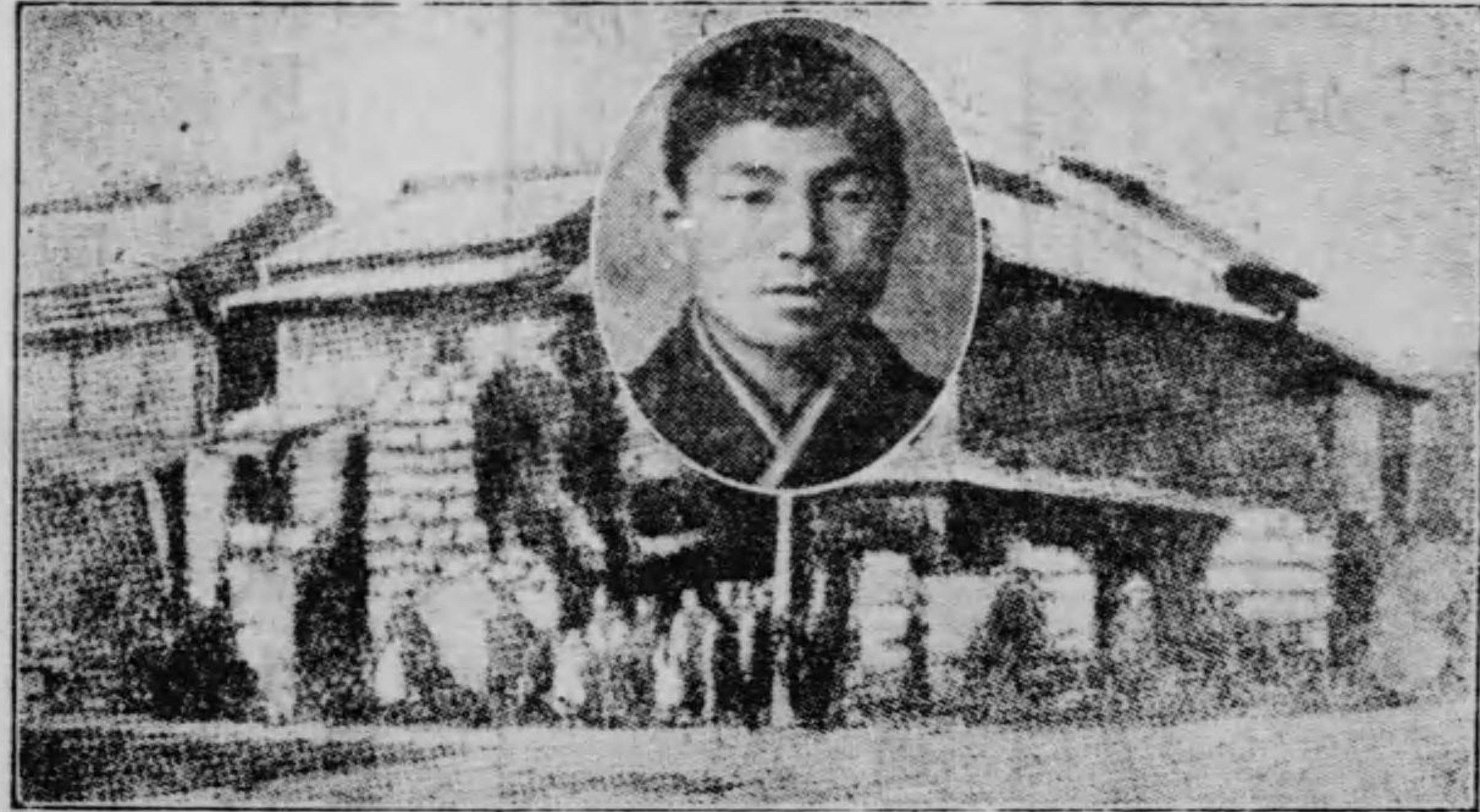
麴町區飯田町四丁目一番地

越後親不知薪炭商店

店主 横井 然爾
電話番町五三四六番

諸國產薪炭問屋下傳商店

神田區錦町三日 日暮傳次郎 電話本局四二六番



(のもしせ影撮を觀盛の店商傳下は圖)

薪炭問屋石炭コークス商

本所區中之郷竹町三七

下總屋 木村喜太郎

電話本所三三四番

薪炭問屋

深川區東町二番地

中村屋 新島宗三郎

電話本所九五二番

薪炭問屋

淺草區山川町一番地

第三 青山宇右衛門

電話(アウ)

薪炭卸小賣

下谷區豊住町四十九番地

中島薪炭店

電話(ナカ)

薪炭問屋

下谷區上根岸町二番地

越出屋號 尾崎榮太郎

電話下谷四九六一番

諸國產木炭問屋業

東京市神田區美土代町一丁目

豆州堅炭
奥州角炭
大俵堅炭

販賣

林

小林乙松商店

電話神田一六五五番

薪炭問屋

本所區林町二丁目十六番地

三 大利根屋原

電話本所一四二七番

薪炭問屋

芝區南佐久間町二丁目十五番地

伊豆屋號

山梨綱吉

電話芝二七三九番
振替東京二八二二三番

薪炭卸小賣

本鄉區根津宮永町三十六番地

大黒屋號

久保正義

電話略(夕ホ)

薪炭問屋

芝區松本町四十六番地

叶

柳川商店

柳川

孟夫

電話芝三二三三番

薪炭問屋

東京山手線池袋驛前

三

紀伊國屋

店主 榑田庄五郎
電話番町一四九番

薪炭商

伊豆屋號

草萱彌三郎

芝區金杉町二丁目十七番地

薪炭石炭コークス商

芝區西應寺町四十番地

分

青木支店

店主 舛田忠次郎
電話芝三一八五番

薪炭問屋

佐野榮商店

小林榮助

營業部 下谷區金杉上町九十二番地
自宅 下谷區金杉上町九十八番地

薪炭卸小賣商

東京市神田區蠟燭町三番地

兼

河口屋號

八木兼治郎

電話神田二二四七番

本所區松井町二丁目四番地
松谷商店
薪炭 松谷辰之助
電話本所二〇九三番

本所區松井町一丁目
渡幸號
薪炭 渡邊幸三
電話本所二五七九番

日本橋區北新堀川岸十號地
しほ忠號
木炭石炭 崎山商店
醬油販賣
電話浪花二九五番

本所區相生町二丁目一番地
藤野屋商店
薪炭 田村熊次郎
電話本所三〇二四番

神田區鐵燭町十九番地
芝崎德太郎
薪炭
電話(トク)

淺草區北清島町一二七
奧州木炭卸商 西方商店
電話(ニシトメ)

本所區松倉町二丁目六五
伊豆屋
薪炭石炭 武與一
コークス
電話(タケヨ)

深川區東森下町六十一番地
五月女與一
薪炭
電話(サオ)

深川區靈岸町一二二
薪炭石炭 寶屋商店
コークス
齋藤 信作

京橋區松屋町二丁目一番地
橋本商店
薪炭 橋本角藏
電話京橋一六一二番

東京府下大島町五丁目
龜田屋商店
薪炭
田中正一郎

深川區西平井町十三番地
金子商店
薪炭 金子辰藏
電話(カネ)

薪炭卸小賣商

東京市本所區相生町五丁目

石 新井屋號 荻井石藏

拙店儀從來専ら薪炭の小賣をのみ營み來り候も今回店務擴張
と共に生産地より直接に購入致し候て卸及小賣を相營み可申
何卒御愛顧御引立の程希望の至りに候

薪炭 吉問屋 仲商 近店

電話本所一〇九〇番

問屋部

深川區東森下町伊豫橋際

小賣部

深川區西六軒堀町ノ橋際

東京秋葉原驛薪炭木材運送取扱店

山

東京秋葉原驛前

山萬運送店

主任 塚田 庄作
電話下谷五四二七番

石

東京秋葉原驛前
合資會社

共立運送店

代表社員 宮川九三郎
電話下谷二三三五番

多

東京秋葉原驛前

武井運送店

店主 武井幸右衛門
電話長下谷一一一九番
振替口座東京五〇八番

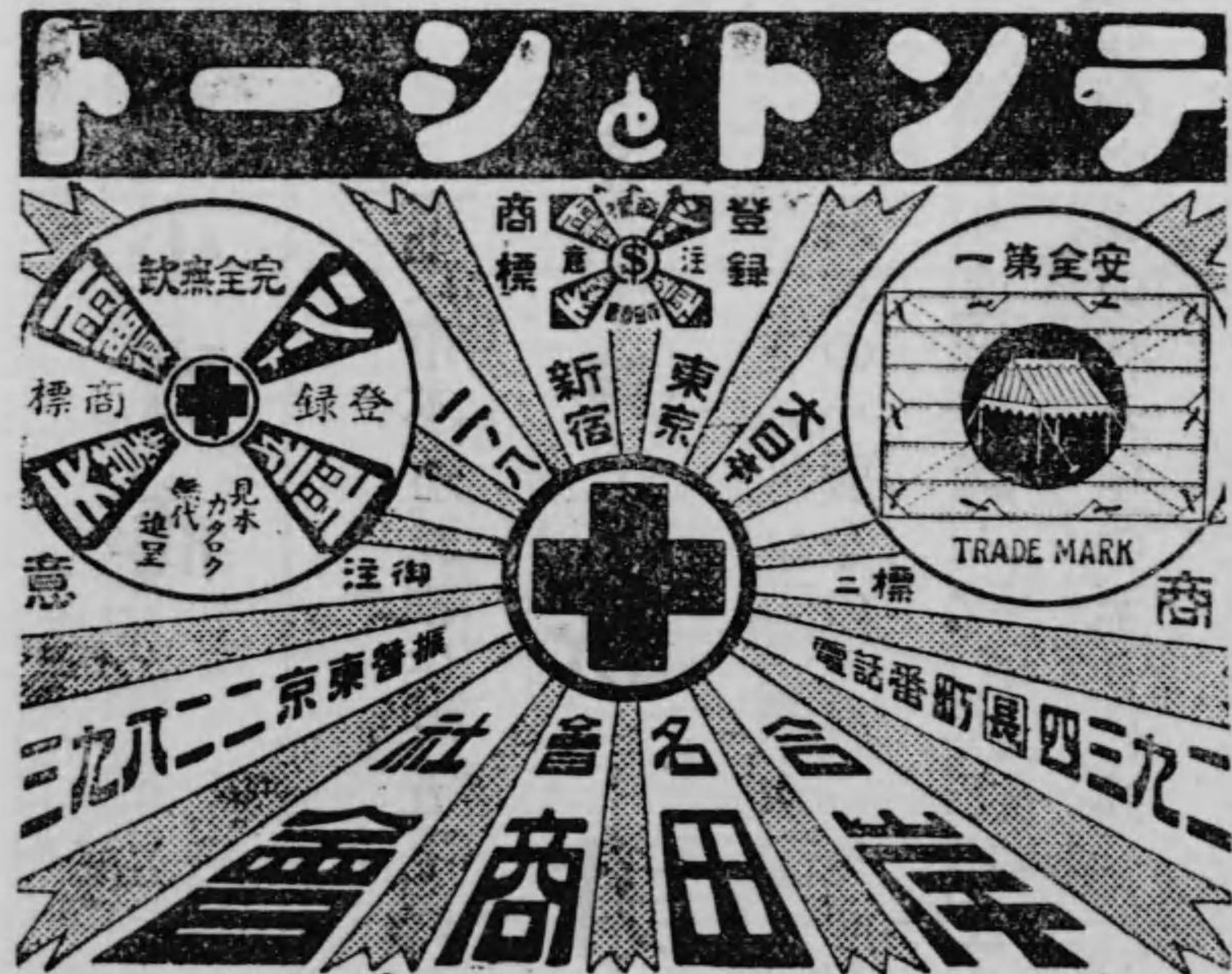
下

東京秋葉原驛前

常陸運送店

山手線 瀧谷驛
店主 深山幸次郎 電話下谷五二二番
常陸運送瀧谷支店
主任 片岡庄二郎

鐵道院指定通運社會御用



本商會製品日期
迅速にして確實也

薪炭問屋

本所區番場町大川端

三上屋惣太郎

電話本所四九二番

製炭部

三上惣左衛門

電話(ミソ)

出張所

磐城國双葉郡浪江驛前
磐城國田村郡船引驛前

陸海軍各鐵道社會御用

營業課目

貨車用	シ	ト
構内用	シ	ト
ホーム用	シ	ト
馬車用	シ	ト
荷車用	シ	ト
船舶用	シ	ト
天幕テント	各種	
ツツ	各種	
合羽	各種	
各種	履	
日除	各種	

製造販賣

東京内藤新宿町

飯沼雨覆店

振替口座東京三〇〇四番

◎鐵道院拂下古シート持合常に澤山あり

薪炭問屋
松綠商
店主箕輪彌

本所區外手町三十 電話本所三三六番

評論

店主箕輪彌氏は俠骨凌々として業界には得易からざる傑出の人物なり一見しては狷介にして容易に親しみ得べからざるが如く見ゆれども接近の度を重ねる毎に親み深く而かも温情の溢るゝものあり、又物には冷贈の如く外觀を装へど萬事に當つて放縱主義を執らず苟も一度信ずる所あれば熱烈なる自信を尊重して屈するを知らざる猪突の勇を持す、故に業界に夥多の親友を有するも友誼の常に渝らざるは氏の天資の然らしむる所ならん。

文筆に將た言論に其の明晰慧敏なる頭腦の働きに於て亦業界に諺しとする所なり、而も事理透徹にして些かも私事に屈托せず、爲に巷間の指導案内の衝に推されて二六時中種々の懸案を持ちかけられ、之れが所断をなし殆んど私事を忘れたるもの、如くにして閑あるを聞かず。

氏は茨城の出先代より連綿とせる店基は松綠商店の名をして益々發揚せしむ、氏は當初は最も大規模のもとに薪炭の卸賣を營み小賣としては僅に稀れなりしが近時は需要者より歡迎さるゝ處より自然小賣の量を増し來り卸賣と小賣は相半ばし居るもの、如く最も手堅き店規に則り居れり、取扱商品は悉く生産地より受け一度取引を開始せば飽まで繼續せんことを慇懃し着實な主とし寧ろ嚴格に過ぐるが如し。

◎本紙は明治四十二年六月廿五日薪炭界唯一の機關新聞として呱呱の聲を擧げ幾多の使命を荷ふて活躍しつゝ來る。今や創刊十星霜愛讀者を有するこゝと二萬。機關新聞の始祖とし將た完備せる新聞として業界より推獎を享けつゝあり。

旬刊

薪炭新報

發行所

東京神田美土代町

發行日

毎月三回五日發行

定價

一部 六錢

一年一圓六十錢

◎報する所は京濱市場薪炭相場及其昂落、變調、先き行き豫想を甫とし全國各地市場の動靜、産地の狀況等を詳にし、更に業界行政の上に於て指導を全ふし載する所の言論は公明にして霸氣横溢す、業に薪炭にあるものは本紙を購讀するに於て幾多の便益あり。

横濱市場取引案内

諸國產木炭問屋

横濱市福富町三丁目九十一番地

飴平號



竹内定吉商店

電話長者町三三八番

本宅

横濱市神奈川青木町一四二
電話本局三千三百〇一番



竹内定吉氏の履歴と人格

竹内家は今を去る二百年の昔、則ち正徳年間より現今本宅に充てられある青木町に於て餡の製造を営み、文化年間に及んで薪炭業に轉じ、今日に至るまで實に一百餘年連綿として來る。氏は實に其第十一代目にして祖先の築き上げし富と信用とを承繼し更に新たに一大活躍を試みつゝ捲土重來の武者振を發揮し業界の精幸を以て推獎せらるゝに至る寔に偉なりと云ふべし、氏は又一面公共に熱心且忠實にして全國に模範の稱ある横濱薪炭商同業組合に組長として當選就任さるゝこと殆んど毎期にして今日も其任にありて組合の爲に盡瘁せらるゝの効多大なりとす、加之營業稅調査委員、横濱家主組合副理事長、横濱市商工聯合會理事等の公職にありて社會公共觀念を離るゝことなく絶えず心血を澁ぎつゝあり、營業にありても横濱業界に於ける第一位の販賣高を示し、時勢の進運に背馳せず常に優秀せる頭腦と手腕とは他の兩立を容るさざる活躍を爲しつゝあり、眞に溫良にして潑瀾なりとは蓋し氏の如き人を謂ふべし。

薪炭石炭問屋

横濱市柳町四番地



清水屋

飯岡商店

電話長者町一一四八番

静岡縣駿東郡小山町



清水屋

飯岡林業事務所

電話四一番

薪炭問屋

横濱市元町三ノ一四五

大河原商店

大河原芳五郎

電話本局五〇三八番



常磐九州石炭問屋

◎宇佐美無煙炭一手販賣◎丸茨無煙炭一手販賣◎八幡無煙炭一手販賣



伊藤勇一商店

本店

横濱市萬代町三丁目川岸

千住支店

東京南千住地方橋場二一四番

蒲田支店

東京府下荏原郡蒲田新田七一五六番
電話架設中

木炭問屋

佐藤孝助商店

横濱市富町三丁目 電話長者一三五番



佐藤孝助氏の履歴

不世出の成功者之れ佐藤氏に冠せらるゝの辭なり、
今を去ること二十七年前、伊豆の三島より出で全く
獨力空拳にて横濱へ來り伊豆木炭の販路を擴むるに
他念なく専心一意精力を注げる甲斐あり、以て今日
横濱市場に於ける有数の問屋として業界は勿論四近
より畏敬せらるゝに至れり、而して氏は亦一面にあ
りては公共にも厚く横濱組合が曩に重要物産同業組
合法に則りて組織さるゝ當時の如きは其創立委員と
して東奔西走せられたる功績は今尙顯著なるものあ
り、創立後において専務委員となり評議員となり
又部長にも擧げらるゝ、尙業界以外において實業同
志會福富會等に常に牛耳を執れり、同時に營業方面
に於ける最近の向上著るしく財をなすこと實に巨萬
を越ゆ、氏性極めて温厚にして一見平凡の如くなれ
ども自重の信念深く爲に自己の信條は他人の爲に注
ぐるが如きことなく意思の鞏固なる點に於て一層衆
人の尊敬を受く。

木炭問屋 野州屋 落合辰五郎商店

横濱市石川仲町二ノ四
電話本局五一三三番

◎略歴 氏は明治元年一月一日野州下都賀郡岩船村に生る、當時家計甚だ豊かならず苦學の功を積んで明治十八年學力檢定試験を受け小學校に教鞭を執り來りしが同廿一年職を辭し空拳横濱に來り獨力にて薪炭商を開業し同二十七年木炭問屋となり今日に及べり。

◎公共 明治廿七年の交山下町元町石川町石川仲町北方町の同業團體組織さるゝや委員となり會長に擧げらる、同廿七年區會議員に選ばれ區會副議長となる、同四十年横濱薪炭商同業組合組織に當り創立委員兼定款起草委員となり組合の組織さるゝや評議員となり更に副組長に擧げられ今尙職にありて業界公事に盡瘁す。

◎取引 汽車物は東海、北陸、東北、船手物は房總豆相各方面なり氏は一度取引を開始せば須く商徳を重んじ間絶を好まず



(圖中直立せるが落合氏の少壯當時なり)

薪炭問屋 大谷倉次郎商店

横濱市翁町五ノ一四三 電話長者町一四二番



閱歴と人格

氏は度量頗る寛大にして小事に拘泥せざるの一事は其品位をして益々崇向せしむとは四近に於ける推獎の評なり、氏は埼玉縣の出、横濱へ來りて店基を確立せしむる迄には相當の苦心と努力と星霜とを積める經歷の然らしむるならんも克く世の大局に鑑み以て誤らざる商畧に則り來れる報償と云ふに外ならざるべし、今や信用の點に於て富力の點に於て將た店基の確實なる點に於て筆を染むるの要なし、氏又公共にも厚く横濱組合は氏に托するに評議員にあらざれば部長の公職を以てし信頼の度大に厚きを見る、其木炭問屋としては北陸に基礎を有し亞いで東海道更に東北物を取扱ふ、店舗を翁町川岸に構へ居ることゝて地の利に於て既に優秀せり、爲に光輝ある山大の商標は益々發揚せられつゝあり。

横濱市松影町一丁目廿六番地

小森商店

幸 薪炭問屋 小森 幸平

電話長者町八七八番

横濱市萬代町二丁目(鶴之橋際)

長岡屋

命 各國木炭卸小賣 柿崎猪之松

電話長者町二六七番
電話略(カキ)又ハ(カ)

横濱市花咲町一丁目十一番地

清水屋

吉 薪炭問屋 大村 平藏

電話本局三七〇四番

横濱市長島町二丁目十五番地

澁谷商店

力 薪炭問屋 澁谷 兼吉

電話長者町八九三番

横濱市南吉田町九六四番地

木炭卸小賣 川端 定吉

電話略(サダ)又ハ(カ)

横濱市港町五丁目二七番地

石炭問屋 長山 園治
コークス炭

電話本局四八七六番
電話略(ナカ)又ハ(ナ)

横濱市石川仲町四丁目六十九番地

薪炭卸小賣

松 石川屋 三背松 五郎

電話略(マツ)

横濱市神奈川青木瀧下町三六〇一

薪炭問屋 宇野澤 豊次郎

電話本局四三八一番

木炭問屋

種各炭堅並俵角式崎檜

號屋島松

堀内太郎吉商店

番六五九二局本話電 二の四町木櫻市濱横



堀内太郎吉商店評論

自ら二ヶ所の製炭所を經營し加ふるに東北地方大手筋の荷主より受けて横濱市場に販賣する、の外遠く静岡の製茶用に毎年大口の供給をなしつゝある同店は質實なる店舗に於て多量の商品をお動かしつゝあり、而して其手山に屬する部分は悉く檜崎式製炭法に依り居りて好評湧くが如し、かく販路の多方面を有する同店は一にありては荷主への手引をなし他面において必要者には便益を供するなり、鞏固なる店基の上に座せる同店主の活躍は正に刮目に値すべきなり、自重して可なり。

薪炭問屋



三

正田商店

川俣寅三郎

横濱市櫻木町驛横緑橋角

電話本局一二五八番
電略(ヒキ)又ハ(ヒ)

薪炭問屋
石炭コークス特約大販賣

横濱市神奈川町八百六十一番地

余藤井清吉
電話本局二四三七番

伊豆木炭
特約大販賣
城東産、河津産、岩科産

横濱市萬代町二丁目三十五番地

德遠州屋商店
鶉飼雪三郎
電話長者町八六一番

薪炭卸小賣業

東京府下大森町不入斗一〇七八

支遠州店屋
池田清吉

七薪炭白米
コークス石炭
清水屋商店
店主清水七五郎

横濱市石川町一ノ二八

横濱市福富町三ノ七七
薪炭商鈴木美貞
イセヤ
電話長者町六五二番

横濱市長島町五ノ二九
薪炭問屋伊藤六郎
電話(イトヲ)

諸國薪炭石炭商
コークス各種燃料

横濱市神奈川青木町二九二
木炭問屋

青柳商店
青柳千代太
電話架設中

横濱市扇町二ノ八〇
薪炭卸小賣商堀口豊重
電話本局二一四〇番

横濱市平沼町二ノ二二
水問屋金子兼治
電話(カネ)

各國木炭角俵専門取扱
横濱市長者町九丁目百番地
木炭問屋豊田繁藏
電話(ト)又ハ(トヨ)

横濱市神奈川町二七八五
薪炭商守賀正吉
大和屋
電話(モリ)又ハ(モ)

横濱市南吉田町七三
薪炭商武井仙太郎
武田屋
電話(タケ)

本店 神奈川縣保土ヶ谷町神戸七〇八
尖木炭問屋 堀江萬次郎
 大黒屋 電話本局九三五三番
 出張店 横濱市日の出町三ノ七七

横濱市梅ヶ枝町三十九番地
林薪炭問屋 福井林之助
 電話(フク)又ハ(フ)

横濱市福富町三丁目
福薪炭問屋 堀本福太郎
 加田屋 電話長者町一七二二番

横濱市末吉町七丁目七十番地
平薪炭卸小賣 藤卷由五郎
 石炭コークス 山崎屋號 電話(ヨシ)又ハ(フジ)

東北木炭専門木炭問屋

刃 小澤清吉

小賣部 横濱市青木町三二四

宮城縣新田驛前

製炭輸出部 小澤商店

◎本會は同業諸氏の御便宜に供せん爲

横濱薪炭同業二日會
 事務所
 横濱市花咲町七の八五 電話本局一八三一
 營業科目
 薪炭卸小賣 炭製造 賣取

- | | | | |
|----------|-------|----------|-------|
| 花咲町七ノ八四 | 伊藤專之助 | 西戸部町一七七三 | 織裳友吉 |
| 伊勢町四ノ八六 | 秋山梅吉 | 西戸部町二八八 | 當麻仲之助 |
| 花咲町十一ノ九三 | 稻葉福藏 | 西戸部町二三〇 | 小澤長藏 |
| 野毛町二ノ四〇 | 神崎要藏 | 西戸部町一九〇 | 大谷新二郎 |
| 戸部町四ノ一三三 | 片桐幸七 | 西戸部町一八八 | 飯島豊吉 |
| 櫻木町三ノ一四 | 成宮定治 | 西戸部町一七八五 | 平井幸太郎 |

◎粟辻式炭團紛粹機を据付貸貸をなす

薪 炭 問 屋
 越 後 屋 本 店
 加 藤 富 五 郎
 横濱市末吉町二ノ五 電話長者町一七六



令嗣庄太郎の幼少時代

精力主義の權化
 加藤庄太郎氏

横濱の業界に古き歴史を有する越後屋本店加藤富五郎氏の創業は明治六年に屬せり、誠實主義の營業振は顧客の信用をして厚からしめ今日の店基を築けるなり、令嗣庄太郎氏又た乃父の意を體し日夜孜々として家業に従ひ店員に伍して奮闘せる精力は眞に推獎に値すべし、聞く同店は以前東海道御殿場に於て製炭事業を経營したることありと云ふも炭林を燒き盡したる爲め今日にては主に若狭、越前、及東北産木炭を取扱ひ大手筋の列に加はり居れり。

横濱近郊保土ヶ谷市場案内

諸國産木炭問屋

神奈川縣保土ヶ谷町岩間



山田屋號 山田由五郎

電話四二七三番
 電略(ホヤ)又ハ(ヤ)

本場地炭專業

田口屋 竹本鐵之輔

神奈川縣保土ヶ谷町三二六八
(停車場より一丁)



橫濱市外保土ヶ谷町岩間

薪炭問屋
各種石炭

山田 商會

木炭部 橫濱市外保土ヶ谷町岩間

石炭部 橫濱市外保土ヶ谷町川岸

本場地炭專門

清水屋號



薪炭問屋
和洋酒類

清水 米藏

神奈川縣保土ヶ谷町
二千六百五十二番地

東京近郊
橫須賀縣 千葉縣 埼玉縣 茨城縣
 市場取引案内

◎横須賀市場案内

横須賀市は戸数一萬五千戸を算し帝國運港地なるを以て著名なる消費地たり、一ヶ年移入木炭は四十萬俵内外に達し上總、房州一割、山北方面二割、東北北陸一割にして他は遠州方面なる島田、金谷兩驛より供給を仰ぎつゝあり、又別に海軍工廠に於て三ヶ月毎に百キロの需要あれどもそは林區炭の供給に依りて充實され、土地商人の手に納むるものは小口物に過ぎず、問屋は左の諸店なり。

横須賀市小川拾番地
薪炭問屋

太 大久保臺太

製炭所 静岡縣中日向村
電話二四四番

横須賀市若松町五十番地
木炭問屋

毛 物井重藏

電話(マル毛)

横須賀市小川六番地
薪炭石炭コークス問屋

キ 山下虎次郎

電話六三〇番
電話(ヤマ)

横須賀市若松町八十一番地
薪炭石炭商

甲 荻原宗十郎
電話三一八番

◎相州平塚町市場案内

平塚町へ移入する木炭の産地は北陸線、東北線東海道産の土釜木炭にして一ヶ年移入数量は六萬俵内外を示せり尙附近の産地なる秦野町、伊勢原町、厚木在等よりも入荷あり、同方面の品種は堅土釜相半ばし居れり取扱商店としては北村與吉氏を最とし他は規模の小なる業者二三店あるのみ。

イ

木炭問屋 相州平塚町新宿
稻毛屋號 北村與吉
電話(キタ)又ハ(ヨ)

千葉縣

下總國津田沼驛前

宅 木炭問屋 森田 祐吉
振替東京二六四九番電話(モリタ)

萬成舎

加 木炭問屋 宇津木 菊藏
千葉縣成東町

千葉縣八日市場町

田 木炭問屋 増田 佐太郎
電話八日市場三十三番

千葉縣八日市場

谷 木炭問屋 柴田 鐵藏
電話(シ)又ハ(シハ)

千葉縣銚子町通穀町

富 木炭問屋 富澤 商店
和洋酒筵吹
電話(トミ)又ハ(ト)

千葉縣銚子町

全 木炭問屋 樋口 直四郎
堺屋商店
電話(ヤマキ)又ハ(ヒ)

千葉縣船橋町五日市

吉 木炭問屋 淺吉 五郎
甘諸商湯
電話(ユアサ)又ハ(ユ)

千葉縣銚子町

ケ 木炭問屋 石橋 勝五郎
電話(イ)又ハ(イシ)

千葉縣銚子町

+ 木炭問屋 岩崎 長三
電話六八振替二二六四七

(介紹物人)



千葉縣八日市場 増田 佐太郎 氏

増田氏は其實力に於ても其信用に於ても其識見に於ても我業界中氏の右に出づる者は果して幾人かあると言はざるを得ぬ、現に公共の上においてには郡會議員、町會議員、學務委員、消防組頭等凡ゆる公職に擧げられて居る、實業界にあつては匯送銀行常務取締役に加へて諸々の會社の相談役格で顔を出してゐられる、之を以て見ても實力、信用、識見の具備せることは明瞭される、本業木炭問屋としては八日市場に於て消化される過半の數量は氏の取扱にかゝるのである。

薪炭苦繩菴問屋

千葉縣松戸町

倉田惣兵衛

電話松戸三三二番

千葉縣船橋町三丁目 濱田屋號 薪炭問屋 加藤巳之助 (老舖) 電話(カト)又ハ(カ)	千葉縣船橋町五日市 薪炭問屋 石崎商店 海苔粗朶 電話(イシサキ)又ハ(イ)	千葉縣津田沼驛前 木炭問屋 廣瀨秋之助 電話(ヒロセ)
千葉縣千葉町市場四一二 薪炭問屋 吉原良造 電話(ヨシ)又ハ(ヨ)	千葉縣海上郡旭町網戸 杉皮木 羽建具 木炭卸 加瀬房吉 電話(カフ)又ハ(フ)	千葉縣千葉町登戸五六 米穀薪炭 小宮米吉 電話千葉三二九番
千葉縣海上郡旭町 薪炭問屋 片山清吉 電話旭町二一三番	千葉縣銚子町 木炭問屋 植田孝吉 (船舶運送業) 電話(ウエ)	内國通運株式會社四ッ街道取引店 木炭問屋 大野長治郎 千葉縣四ッ街道驛前
千葉縣船橋町九日市一八三六 船金商店 木炭問屋 鈴木惣太郎 (甘藷落花生) 電話船橋九番	千葉縣銚子町 木炭問屋 大塚新六 (運送業) 電話(キヤ)	千葉縣匝瑳郡八日市場 釜源支店 木炭問屋 伊知地忠吉 電話(チウ)
千葉縣八日市場町富谷 木炭問屋 平山彦次郎 電話(ヒコ)	千葉縣八日市場町富谷 木炭問屋 平山彦次郎 電話(ヒコ)	千葉縣八日市場町富谷 木炭問屋 平山彦次郎 電話(ヒコ)

埼玉縣

本縣生産地に就ては本編生産地荷主案内誌中に於て輯録したれば此處には縣下有數なる需要都市の状況と問屋業者氏名店舗所在地等を紹介することとせり、左に順を追ふて摘録すべし。

◎川口町 同地は有名なる鑄物工場の所在地にして松炭の大消化地たり、其量一ヶ年を通じて二十萬俵に達す、其他一般需用として土釜五萬俵堅炭四萬五千俵松炭三百車に達せり、之が産地を類別すれば東北本線物大部分を占め常陸、千葉方面よりも移入あり。

◎大宮近在 北足立郡は埼玉縣を通じて名邑市街多き地域にして大宮町の人口二萬、浦和町の九千、蕨町の三千あり、浦和は縣廳所在地なるに加へて官公私立學校地方區裁判所、諸會社等ありて薪炭の大需要地なり、又蕨町は古來より機業地として知られ、共に木炭の消費量多額を算せり、左に同方面に於ける薪炭問屋の主なるを示さん。

薪炭問屋 **岡村善左工門**
埼玉縣北足立郡川口町
電話六十二番
電話(ヲカ)

埼玉縣北足立郡蕨町
薪炭問屋 高橋富二郎
電話(ヤマタ)

埼玉縣北足立郡原市町
薪炭問屋 岩井商店
電話(イワキ)

埼玉縣北足立郡戸田大字上戸田
薪炭問屋 熊木辰太郎
電話(タツ)

埼玉縣北足立郡原市町
薪炭問屋 内田倉之助
電話(ウチ)

埼玉縣幸手町
薪炭問屋 小島徳三郎
電話東京三九二七六番

木炭石炭商
佃屋號

豊田利助

埼玉縣南埼玉郡越ヶ谷町二三〇番地

埼玉縣北足立郡大宮町
石炭木炭商 遊澤徳衛
電話(トク)

埼玉縣幸手町上高野
薪炭糸繭 小森谷甚三郎
電話(コモ)

埼玉縣浦和町
薪炭問屋 岩城勝雄
電話(イワキ)

埼玉縣北足立郡志木町
薪炭問屋 森田松太郎
電話(モリタ)

仲仙道大宮町岩槻新道
薪炭問屋 中善商店
電話(ナカゼン)

仲仙道大宮町與野新道
薪炭問屋 岩井林藏
電話大宮一七五番

埼玉縣北足立郡大宮町
薪炭問屋 新井勇次郎
電話東京二四四七五番

埼玉縣岩槻町
薪炭問屋 有山善太郎
電話岩槻三十三番
電話東京二四二四二番

埼玉縣幸手町
薪炭問屋 安部祐助
電話幸手五番

埼玉縣北埼玉郡寶珠花
薪炭問屋 小川宗次郎
電話(ソウ)

埼玉縣岩槻町
薪炭問屋 福澤將三郎
電話(ラク)

埼玉縣栗橋町
薪炭問屋 小林茂助
電話東京三四七七七番
電話(コモ)

埼玉縣北葛飾郡寶珠花
薪炭問屋 増田莊二
電話(マスタ)

埼玉縣岩槻町
薪炭問屋 根本球之輔
電話(ヤマキ)

埼玉縣栗橋町
薪炭問屋 坂本駒吉
電話東京三六四三六番

◎鴻巣町 同地は埼玉縣に於ける著名なる養蠶地にして木炭の需用は沿線其比を見ざる盛觀を呈し一ヶ年を通じて五百車内外の移入あり土釜四分堅六分の割合に相當し山形秋田過半を占め能登を第二位とし秩父産木炭之れに亞ぐ。

埼玉縣鴻巣町
木炭問屋 秋笹 吉藏
雜貨荒物
電話十九番

埼玉縣鴻巣町
茶碗屋號
近江好之助
電話九番電略(ラミ)

埼玉縣鴻巣町
木炭問屋 福島大次郎
電話東京一五九二六番

埼玉縣鴻巣町
木炭問屋 小林房吉本店
電話二十七番

埼玉縣鴻巣町天市町
杉浦忠四郎
電話四十七番

武州鴻巣町
薪炭石炭
石井源六
電話(イシ)

◎忍町 同地は有名なる足袋製造工場所在地にして工場用養蠶用其他に消費する木炭の數量は少なくとも一ヶ年二百車以上に達し秩父産七分秋田北陸信越産三分に相當し堅物八分土釜物二分の割合なり、而して近時附近に於ける養蠶事業は年次發達の狀にあれば木炭の消費量も遞加せらるべき趨勢に向ひつゝ、あれば同地に於ける一ヶ年の需要數量は裕に三百車に達すべき見込なり。

◎忍町の木炭を一手に取扱ふ稻原氏

忍町業界を左右するに足る勢力を有する稻原政吉氏は同地足袋商井形久治方に店員となり勤続二十ヶ年間に亘り其年期中は眞に模範店員の稱あり、勤務中擔當區域なる秋田縣能代港に出張中秋田産の木炭が比較的低廉なることを知るや胸眼なる氏は試みに一車を買入れ歸來之を自己が昵懇なる各工場主へ紹介したるに品質の良好なると且又他國産に比して價格の低廉なる處より我を先きにと分配を欲するもの多く毎月五車の移入を受くるも尙且つ足らざる状態なりしかば大正四年に及んで主家を辭し獨立して薪炭界に入り土地の便宜を計ると共に自己も大躍進を試みんと決し爾來木炭商として斯界に筈さし來りたり、然るに僅かに三星箱を経るの今日事志と合致し氏が主家に勤めて世の風波に揉まれし玲瓏玉の如く些の圭角を有せざる交際振りが得意先の信用を増し、同地數百に餘る工場は殆んど氏の一手販賣に屬せり、今や養蠶方面新販路の開拓に餘念なく忍町消費量の全額は氏の販賣高と一致せり眞に偉なり。

薪炭石炭問屋 稻原政吉商店
埼玉縣北埼玉郡
忍町行田
電話一七八番
電署(イ)

◎熊谷町 熊谷町は信越線と秩父線との交叉點に位置を占め木炭の大需要地に數へらる而して同地に移入する木炭の一ケ年數量は秩父産三百五十車信州輕井澤附近の産及上州鬼石町を經由して移入するもの二百車ありて養蠶用に費さるゝ量六分一般家庭向料理屋向合して四分の割合なり取扱問屋として首位にあるは大里郡佐谷田村平戸なる田中長一郎氏の右に出づるものなく熊谷町字石原町猪俣、高瀬、佐藤の諸店之に次ぐ。

埼玉縣大里郡佐谷田村平戸

木炭問屋 田中商店

店主 田中長一郎
電話二四二番(夜)

埼玉縣熊谷町石原

木炭石炭問屋 猪俣源次郎商店

伊勢屋 號
電話二三三番(夜) 三四一二五番

茨城縣

◎古河町 同地は著名なる製茶地に亞ぐに養蠶も又旺盛なるを以て木炭の需要又多額に上り毎年三四月の需用期より一ケ年を通じ二百七八十車の供給を仰ぎ居りて山形秋田産奥羽線上物を歡迎し堅九分土釜一分の割合なり、更に野州本線筋よりも此地へ移入し居れり、尙隣接栗橋町に於て養蠶用に供する木炭が一旦古河町へ卸され栗橋町の需要に供

せらるゝもの合して約五百車以上に達するも栗橋需要二百五十車を算するが故に古河に於て需用さるゝ木炭の數量は年額二百五十車以上に達するものとす。

茨城縣古河町銀治町

木炭 富岡義一郎

熊野屋號
專業

茨城縣古河西片町

薪炭 宇井幹雄

紀州屋號
問屋

茨城縣古河町

木炭 鈴木啓次郎

問屋

◎結城町 同地よりは柵土釜亂貫の製産あるも俵裝を改良せざれば中央市場へ向かざるが幸ひに土地の需要多き爲改善を加へて縣外移出を爲すの必要を認めざるなり、而して同地は生産地に非ず著名なる大需要地なるが故に地物木炭を消費する以外に奥羽線沿線の各地並に東北本線白河、一の關乃至は兩毛線栃木近在より供給を仰ぎ一ケ年移入額二百車を超ゆ。

茨城縣結城町

木炭問屋 押野徳藏商店

茨城縣結城大町

肥料商 北木炭 岩崎菊次郎

肥料商

電話二一九番
電話(キ)八(キ)夕

茨城縣結城町四之宮

真綿細糸 中澤傳藏

木炭商

21819

茨城縣

〔福島、宮城、岩手
山形、秋田、長野
山梨、新潟〕

各地木炭取次所

常總線下妻驛渡及各驛渡

▽常陸産柵丸消輸出

各地木炭商

分 飯岡熊吉商店

茨城縣眞壁郡下妻町

電略(イ)又ハ(イ才カ)

102

千葉縣東葛飾郡野田町

炭屋號

薪炭
甘藷
箕苦

秋 秋谷 商店

電略(アキ)又ハ(ア)

松炭製炭所

千葉縣流山町在野々下

終